

TOTO

取扱説明書 保証書付
**工事店様へ
のお願い**

貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入のうえ、お客様に必ずお渡してください。

浴室テレビ (10.4型)

EKK30032

PTZ0020

このたびは、浴室テレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

取扱説明書は保証書付きですので大切に保存しておいてください。



安全上のご注意

安全上のご注意	1
使用上の注意	3

ご使用の前に

付属品の確認	4
各部のなまえ	5

使い方

テレビを見る	9
FM放送を聴く	13
外部入力を見る	16
音に臨場感をもたせる	18
外部入力の使用方法	19
テレビの受信チャンネルを設定する	20
FM放送の受信チャンネルを設定する	25
その他の調整をする	27

お手入れ

お手入れ	30
------	----

困ったら

故障かな?!と思ったら	31
アフターサービスについて	32
仕様	33
保証書	34



安全上のご注意

安全のために、
必ずお守りください。

この説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られる場所に保存しておいてください。

表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を絵表示し、その意味は次のようになっています。



分解禁止



必ず行う



一般的な禁止



触れるな



注意喚起

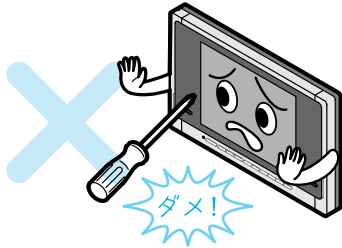
警告



絶対に分解したり、修理・改造は行わない

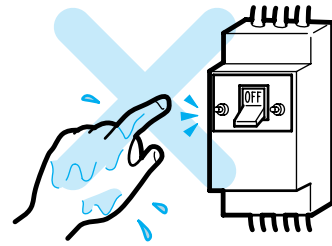
火災、感電の原因になります。

※修理はお求めの販売店・取付工事店に依頼してください。



ぬれた手で屋内開閉器（ブレーカー）をさわらない

感電のおそれがあります。



万一、煙が出る・変なにおいがした場合は、ただちに使用をやめ、屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切る

感電や火災、事故のおそれがあります。ただちにお求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス(株) TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02 (フリーダイヤル) にご相談ください。

注意



雷が発生した際は屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切る

雷による過電流で電子部品が破損するおそれがあります。



ケースが割れた、画面が映らないなどこわれたままで使用しない

感電や火災、事故のおそれがあります。



上に物を置かない

落下してけがをするおそれがあります。



製品が確実に取り付けられているか確認する

漏水のおそれがあります。確実に取り付けられていない場合は、お求めの販売店・取付工事店にご相談ください。



ご自身で取付位置を変更しない

感電や火災、漏水のおそれがあります。

※変更の際はお求めの販売店・取付工事店にご相談ください。



リモコンの電池はプラス⊕とマイナス⊖に注意して正しく入れる

電池の液もれなどにより、周囲が汚れたりするおそれがあります。



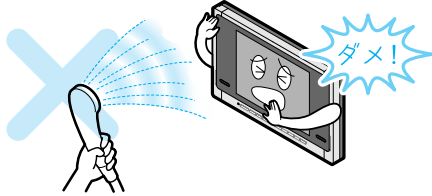
使用上の注意

機器の故障、破損の原因になりますので、次のことをお守りください。

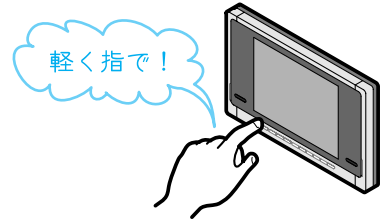
⚠ 注意

テレビ本体とリモコンの注意

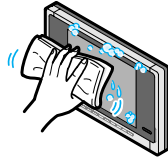
⊘ 故意に水をかけない
スピーカー穴に水が溜まり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。



! スイッチは軽く指で操作する
先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。



! シャンプーなどがついたら、軽く絞った布で拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取る
そのまま放置すると変色、故障の原因となります。



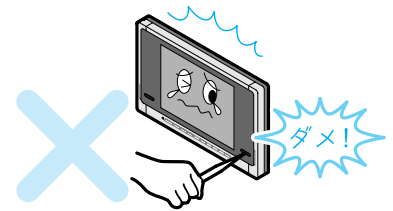
! 使用温度範囲内で使用する
使用温度(0~50℃)をこえた範囲での使用は、故障の原因となります。

テレビ本体の注意

⊘ 画面を強く押さない
画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。



⊘ スピーカー部に物を差し込まない
防水機能がこわれ、故障の原因となります。



リモコンの注意

⚠ テレビ本体に向けて操作する

⚠ 浴槽に浮かべたり沈めたりしない
故障の原因となります。



! 電池交換は水滴をよく拭き取ってから行う
水が中に入ると故障の原因となります。



! 電池ふたは確実にしめる
故障の原因となります。

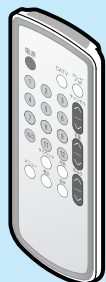
⚠ 落とさない
故障の原因となります。

! リモコンホルダーは日の当たらない所につける
変色などの原因となります。

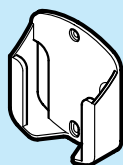
付属品の確認

最初に付属品を確認してください。

リモコン：1個



リモコンホルダー：1個



ボタン型電池：1個
(リモコン用)



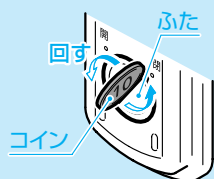
電池番号：CR2032

取扱説明書(本書)

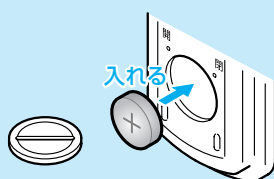


リモコン用電池の入れ方

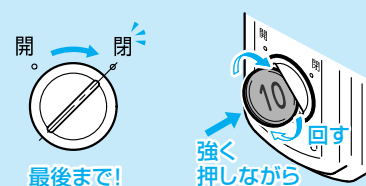
1 電池ふたを回して開ける。
(コインなどを使用してください)



2 電池を入れる。
(プラス⊕を上!)



3 電池ふたを強く押しながら回し最後まで閉める。



注意

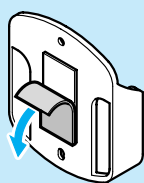


※電池交換は必ず水滴などを拭き取ってから行う。
リモコン内部に水が入ると故障します。

リモコンホルダーの取付け方

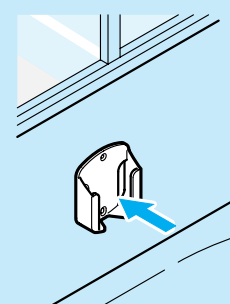
1 取付面の汚れや水滴をよく拭き取る。

2 裏の両面テープ
保護紙をはがす。



3 お好みの位置に貼付ける。
※直射日光の当たらない位置に貼付けてください。
※必ず壁に貼付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼付けないでください。
※気温の低いときは、両面テープをドライヤー
などであたためてから貼付けてください。

4 上から強く押して確実に貼付け、しばらく
放置する。
※ねじでの固定は必要ありません。



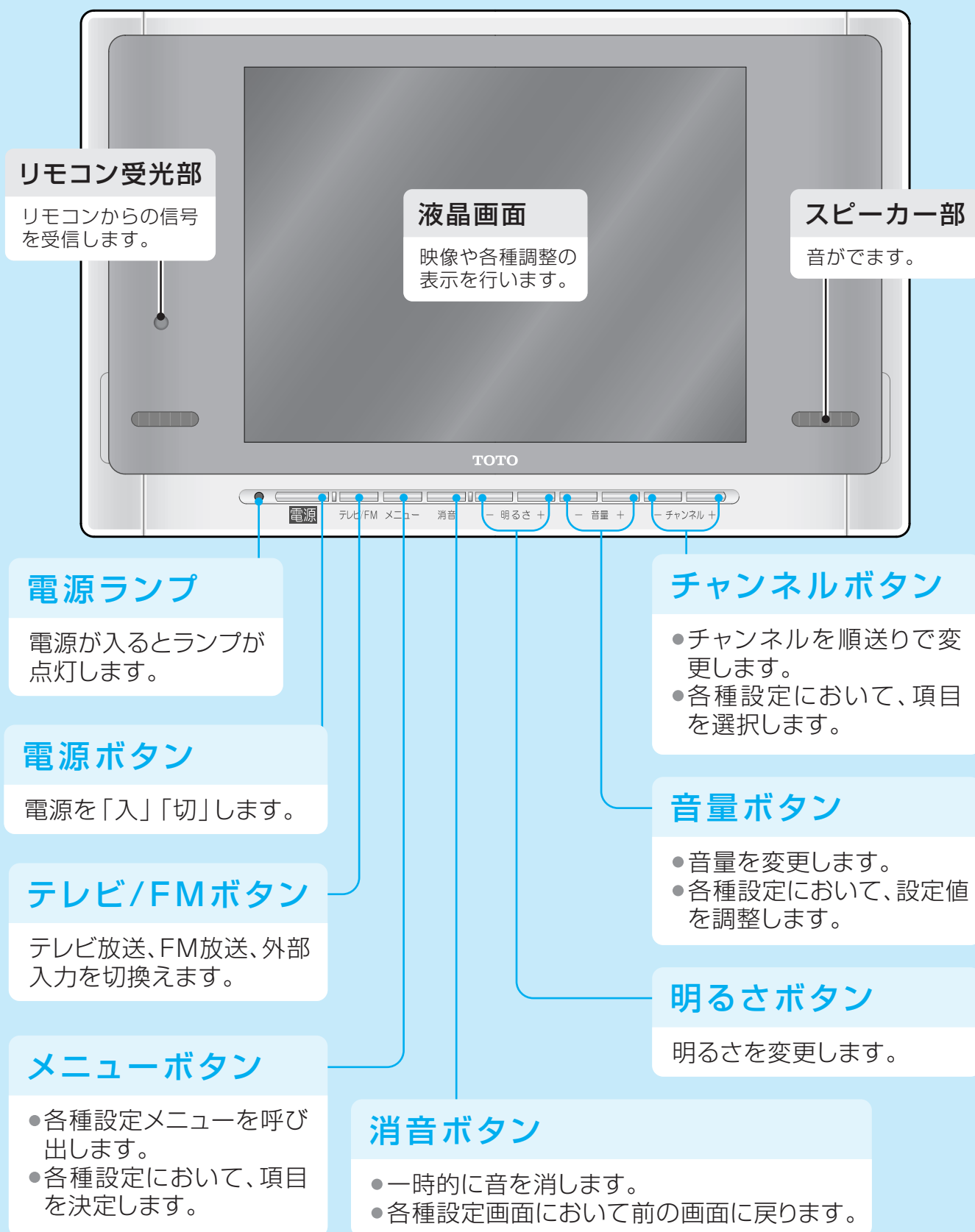
おしらせ

※リモコンが出し入れできることをご確認の上、リモコンホルダー貼付け位置を決めてください。

※リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの電波はテレビに届きません。
リモコンはテレビに向かって操作してください。

各部のなまえ

テレビ本体



リモコン

リモコン発信部

テレビへ信号を発信します。

電源ボタン

電源を「入」「切」します。

チャンネル数字ボタン

見たいチャンネルを直接選びます。

サラウンドボタン

サラウンドを「入」「切」します。

メニューボタン

- 各種設定メニューを呼び出します。
- 各種設定において、項目を決定します。

表示ボタン

画面のチャンネル番号表示を切り替えます。

CATVボタン

CATVチャンネルを選ぶときに使用します。

テレビ/FMボタン

テレビ放送、FM放送、外部入力を切替えます。

チャンネルボタン

- チャンネルを順送りで変更します。
- 各種設定において、項目を選択します。

音量ボタン

- 音量を変更します。
- 各種設定において、設定値を調整します。

明るさボタン

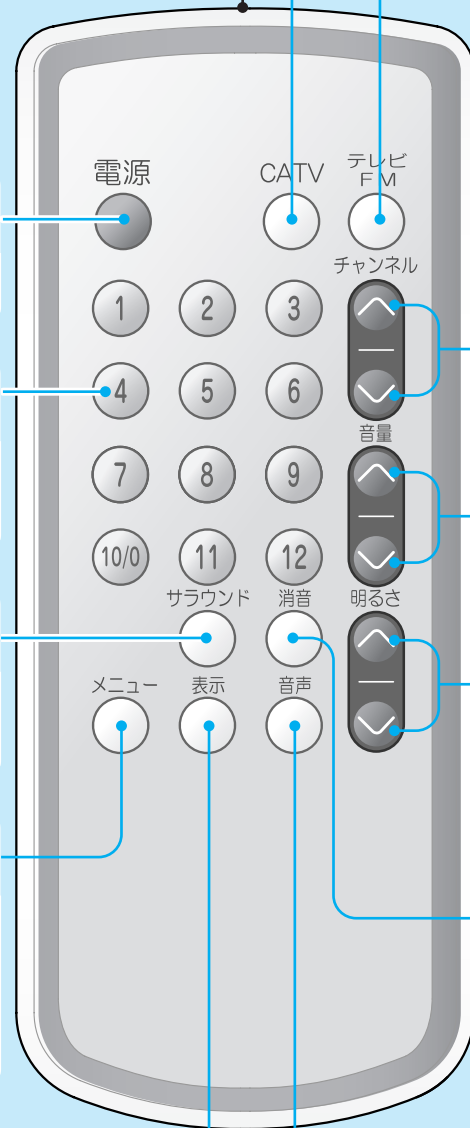
明るさを変更します。

消音ボタン

- 一時的に音を消します。
- 各種設定画面において前の画面に戻ります。

音声ボタン

音声を切替えます。



注意

リモコンは必ずリモコンホルダーに入れて保管すること
他の場所に置いた場合、落下や水没のおそれがあり、故障の原因となります

各部のなまえ

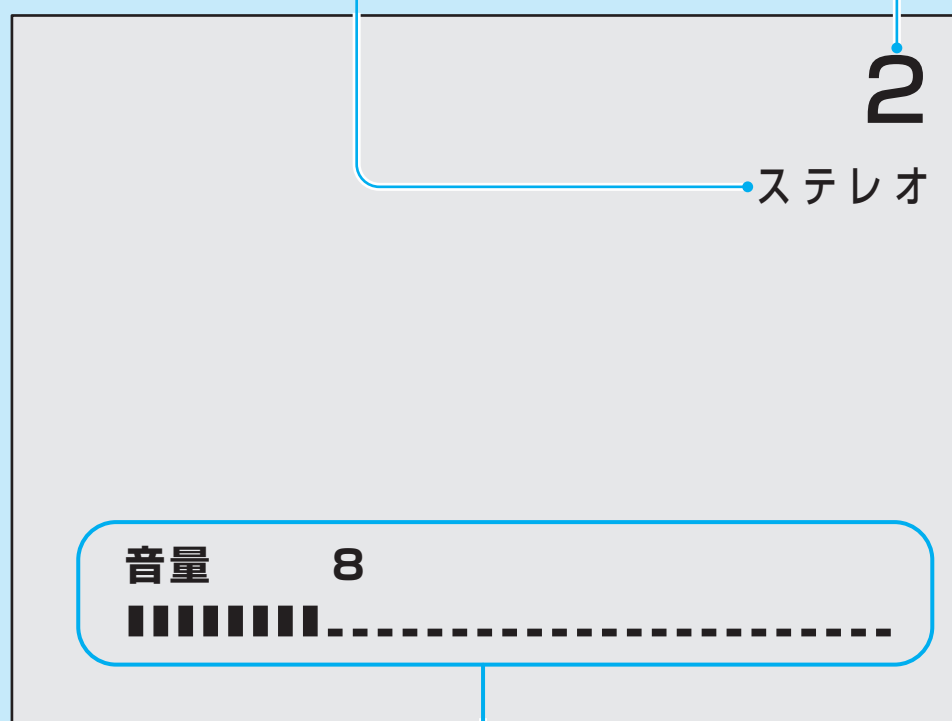
テレビ画面（基本）

音声表示

受信した音声種類を表示します。
ステレオ放送時:「ステレオ」
モノラル放送時:「モノラル」
音声多重放送時:「主音声」「副音声」「主+副」

チャンネル表示

- チャンネル番号を表示します。
- 表示/非表示の設定ができます。



音量表示

音量をバーと数値で表示します。

おしらせ

※メニュー画面などでは、各種項目を表示します。

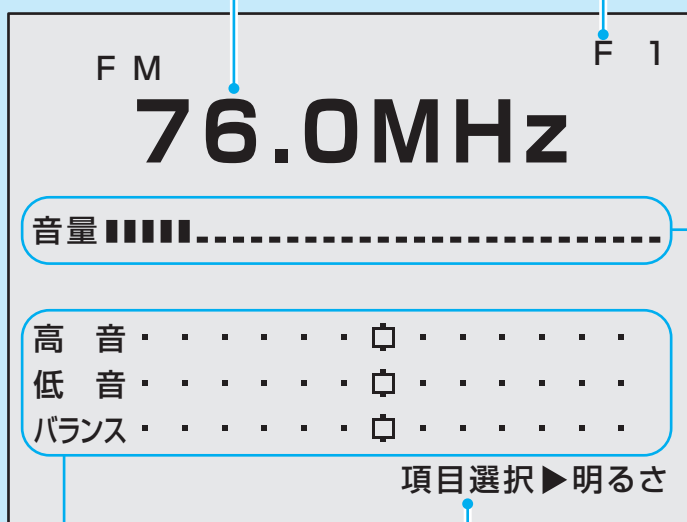
FM画面

受信周波数表示

受信中の周波数を表示します。

チャンネル表示

チャンネル番号を表示します。



音量表示

音量をバーで表示します。

音質表示

高音/低音/バランスを表示します。

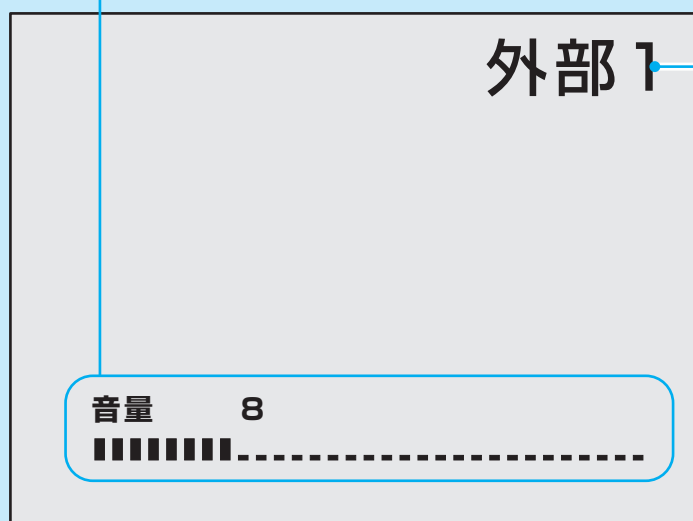
操作ボタン表示

どのボタンを操作するのか表示します。

外部入力画面

音量表示

音量をバーと数値で表示します。



外部表示

表示/非表示の設定ができます。

- 外部入力画面は「外部1」と「外部2」があります。
- 初期設定では外部入力画面は表示されません。表示させる方法はP.27「その他の調整をする」を確認してください。

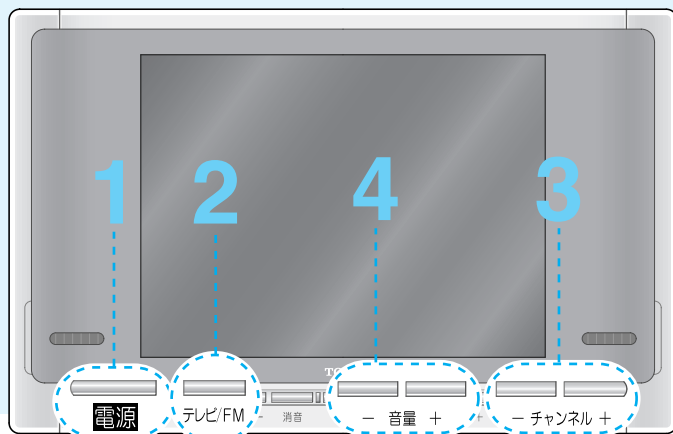
おしらせ

※メニュー画面などでは、各種項目を表示します。

テレビを見る

- 誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
- 受信チャンネルの設定については、P.20をご覧ください。

テレビを見る



1

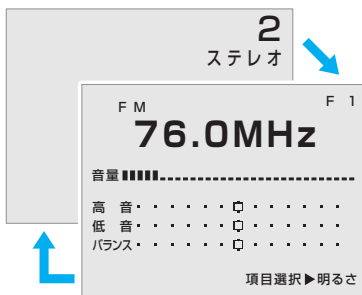
電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。

2

テレビ/FMボタンを押す

テレビ画面のときは必要ありません。



押すたびに切替わります。

「テレビ」
↓
「FM放送」

※
機能設定にて外部入力をオンにした場合、右記のように切り換わります。

「テレビ」
↓
「FM放送」
↓
「外部入力1」
↓
「外部入力2」

3

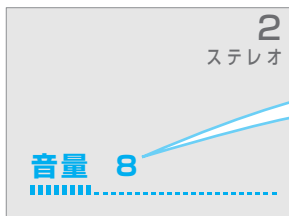
チャンネルを選ぶ

「チャンネル+/-」（リモコンの場合▲/▼）ボタンは順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます。

4

音量を調整する

「+」を押すと大きく、「-」を押すと小さくなります。（リモコンの場合「▲」を押すと大きく、「▼」を押すと小さくなります。）
画面に数字とバーで音量が表示されます。



約4秒間操作なしで画面表示が消えます。

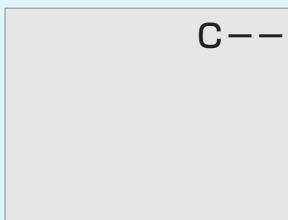
ケーブルテレビチャンネルを選ぶ(リモコンのみ)

●リモコンからの操作のみケーブルテレビチャンネルを直接選ぶことができます。

例) ケーブルテレビ20チャンネルを選ぶとき

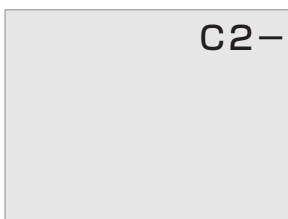
1

「CATV」ボタンを押す



2

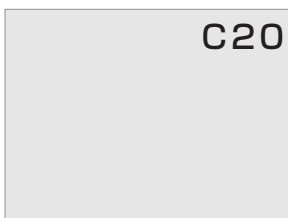
「2」を押す



3

「10/0」を押す

※「10/0」は0となります。



おしらせ

- ※チャンネル+/- (リモコンの場合▲/▼) ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
- ※リモコンの①~⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このチャンネルは設定されていません」の表示がでます。
- ※13以上のチャンネル番号を設定した場合はチャンネル+/- (リモコンの場合▲/▼) ボタンで選んでください。
- ※電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
- ※テレビの音量/音質とFMの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。
- ※テレビの音量/音質と外部入力の音量/音質は同じです。
- ※リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり発信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。
- ※リモコンから選べるケーブルテレビチャンネルはC13~C63です。「10/0」は0となり、関係する数字以外は操作無効となります。約4秒間操作なしで操作無効となります。
- ※CATVは配信会社によって受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。



注意

テレビからFMに切替えたとき、それぞれの設定によっては音量や音質が急激に変化する場合があるので注意する

テレビを見る

明るさを調整する

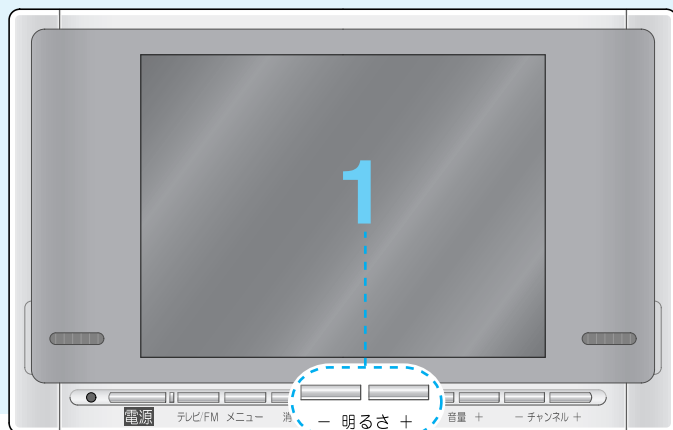
- 室内の明るさなどにあわせて画面の明るさが調整できます。メニューボタンからも操作できます。その場合は P.27 をご覧ください。



1

明るさボタンを押す

「+」を押すと明るく、「-」を押すと暗くなります。(リモコンの場合「▲」を押すと明るく、「▼」を押すと暗くなります。)画面に数字とバーで明るさが表示されます。



約4秒間操作なしで画面表示が消えます。

一時的に音を消す(消音)

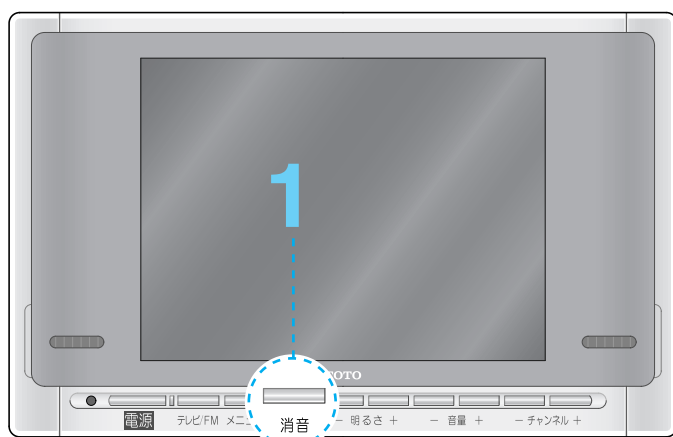
- 一時的に音を消すことができます。



1

消音ボタンを押す

画面に赤字で音量とバーが表示され、約4秒後にバーが消えます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでて約4秒後に表示が消えます。



赤表示になります。

消音 10

4秒後に画面表示が切り替わります

消音 (10)

チャンネル表示を切替える

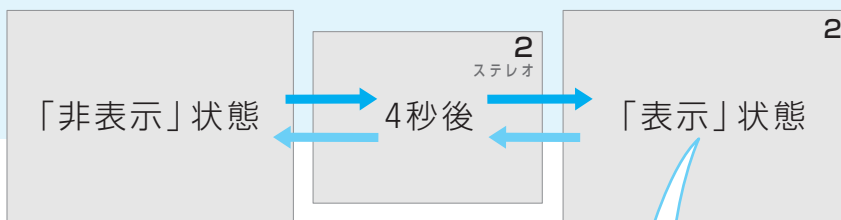
●チャンネル表示の表示/非表示を切替えることができます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は(P.27をご覧ください。



1

表示ボタンを押す(リモコンのみ)

各状態から押すたびに画面右上に大きくチャンネル表示がでて、約4秒後に反対の状態に切替わります。



右上に常時小さくチャンネル番号が表示されます。

音声を切替える

●2か国語放送など音声多重放送のときに聞きたい音声を選べます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は(P.27をご覧ください。



1

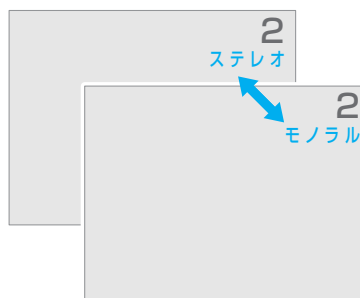
音声ボタンを押す(リモコンのみ)

押すたびに次のように切替わります。

モノラル放送の場合: 切替えなし

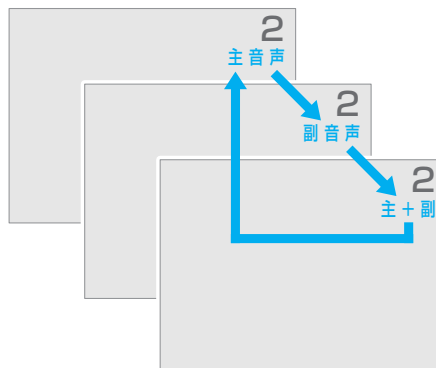
ステレオ放送の場合

「ステレオ」
↕
「モノラル」



音声多重放送の場合

→「主音声」
↓
「副音声」
↓
「主+副音声」



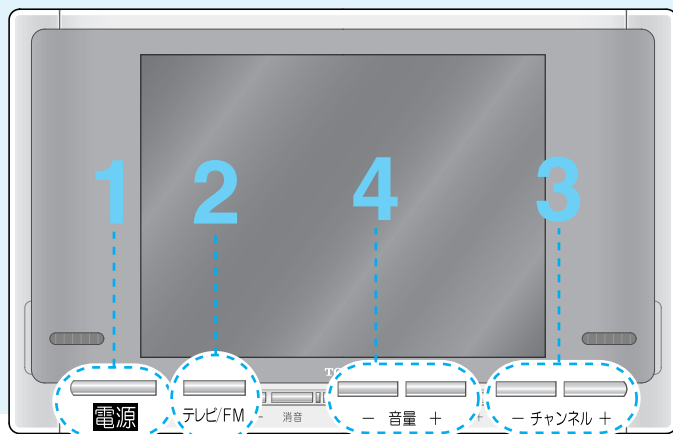
おしらせ

※ステレオ放送中にモノラルに設定すると、チャンネル表示が水色になります。

FM放送を聴く

- 誤った使い方は事故や故障の原因になります。
注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
- 受信チャンネルの設定については、P.25を
ご覧ください。

FM放送をきく



1

電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。

2

テレビ/FMボタンを押す

FM画面のときは必要ありません。

押すたびに
切換わります。

→「テレビ」
↓
「FM放送」

※
機能設定にて外部
入力をオンにした
場合、右記のよう
に切り換わります。

→「テレビ」
↓
「FM放送」
↓
「外部入力1」
↓
「外部入力2」

3

チャンネルを選ぶ

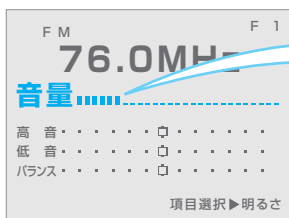
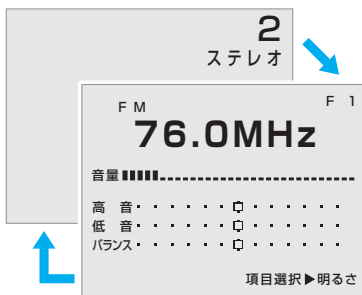
「チャンネル+/-」（リモコンの場合は▲/▼）ボタンは
順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます。

4

音量を調整する

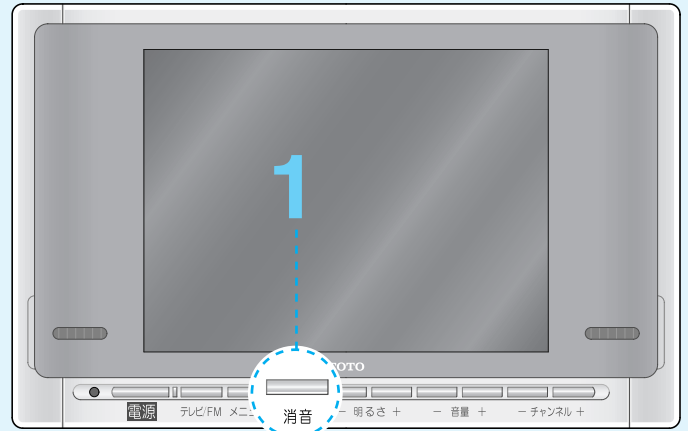
「+」を押すと大きく、「-」を押すと小さくなります。
(リモコンの場合「▲」を押すと大きく「▼」を押すと
小さくなります。)
画面のバーの大きさが目安となります。

バーが
増減します。



一時的に音を消す(消音)

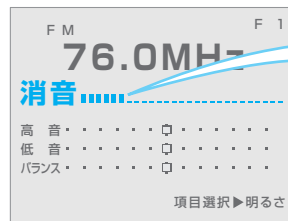
- 一時的に音を消すことができます。



1

消音ボタンを押す

画面のバーが赤表示になり赤字で消音と表示されます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでて元に戻ります。



赤表示になります。

おしらせ

- ※チャンネル+/- (リモコンの場合▲/▼) ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
- ※リモコンの①~⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このチャンネルは設定されていません」の表示がでます。
- ※電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
- ※テレビ(外部入力)の音量/音質とFMの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。
- ※テレビの音量/音質と外部入力の音量/音質は同じです。
- ※リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり受信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。
- ※FM放送はVHF/FMアンテナを利用して受信する構造です。VHF/FMアンテナがない場合は、別途VHF/FMアンテナを設置する必要があります。(VHFアンテナで受信する場合、FMアンテナと比較すると感度が悪くなる場合があります。)
- ※CATVではFM放送を受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。
- ※アンテナ線にFM帯域のフィルタが入っている場合は、別途FMアンテナを設置する必要があります。



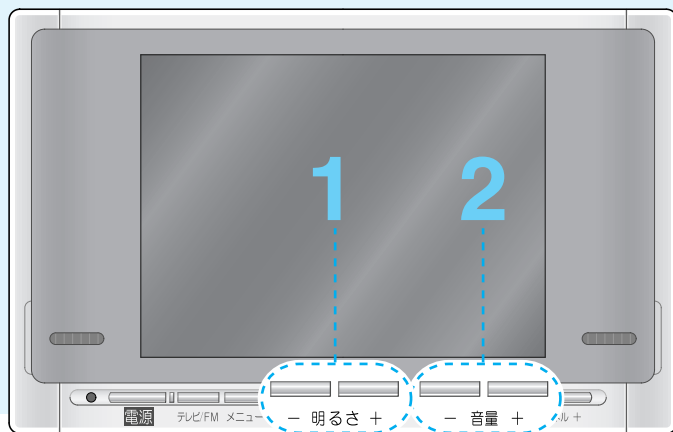
注意

FMからテレビ(外部入力)に切替えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合があるので注意する

F M放送を聴く

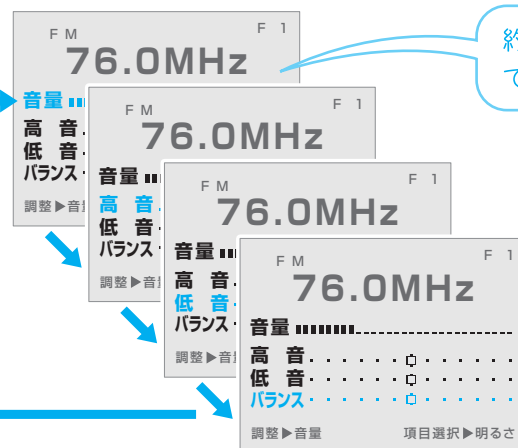
音質を調整する

●お好みにあわせて簡単に音質が調整できます。



1 明るさボタンを押す

「+」「-」(リモコンの場合▲/▼)を押すと、音量⇄高音⇄低音⇄バランスと調整項目が選択できます。



2 音量ボタンを押す

「+」「-」(リモコンの場合▲/▼)を押すと、選択した項目の調整ができます。

※□が移動します。



おしらせ

※テレビ(外部入力)の音量/音質とFMの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。

※テレビの音量/音質と外部入力の音量/音質は同じです。

⚠ 注意 FMからテレビ(外部入力)に切替えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合があるので注意する

外部入力を見る

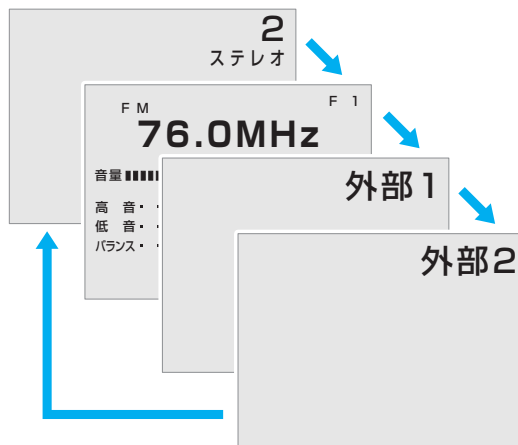
- 外部入力は外部入力端子に接続された映像機器の信号を出力します。外部入力端子に入力信号がない場合は出力しません。(映像入力信号がない場合は画面に「外部」を表示しつづけます。)
- 外部入力画面は「外部1」と「外部2」があります。
- 初期設定では外部入力画面は表示されません。表示させる方法は P.27「その他の調整をする」を確認してください。

外部入力を見る



1 電源を入れる
押すたびに電源を「入」・「切」します。

2 テレビ/FMボタンを押す
外部入力画面のときは必要ありません。



押すたびに切り替わります。

→「テレビ」
↓
「FM放送」
↓
「外部入力1」
↓
「外部入力2」

安全上のご注意

ご使用前に

使い方

お手入れ

困ったら

お知らせ

- ※外部入力の音量/音質とFMの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。
- ※外部入力の音量/音質とテレビの音量/音質は同じです。



注意

外部入力(テレビ)からFMに切替えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合があるので注意する

外部入力を見る

明るさを調整する

- 室内の明るさなどにあわせて画面の明るさが調整できます。



明るさボタンを押す

「+」を押すと明るく、「-」を押すと暗くなります。
(リモコンの場合「▲」を押すと明るく「▼」を押すと暗くなります。)

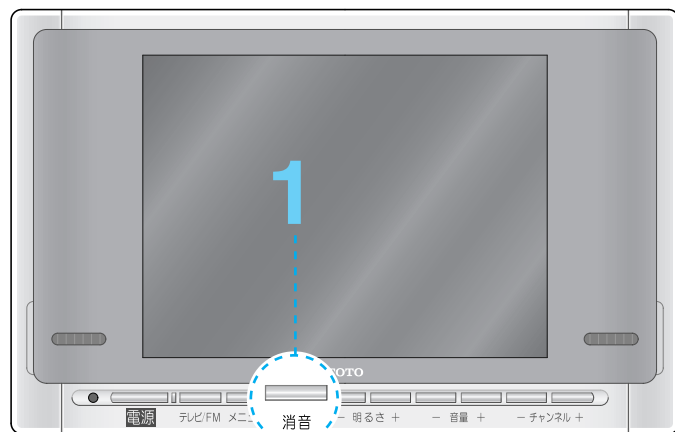
画面に数字とバーで明るさが表示されます。



約4秒間操作なしで画面表示が消えます。

一時的に音を消す(消音)

- 一時的に音を消すことができます。



消音ボタンを押す

画面に赤字で音量とバーが表示され、約4秒後にバーが消えます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでて約4秒後に表示が消えます。

赤表示になります。

消音 10

4秒後に画面表示が切り替わります

消音 (10)

音量を調整する

●音量が調整できます。

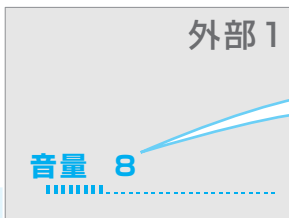
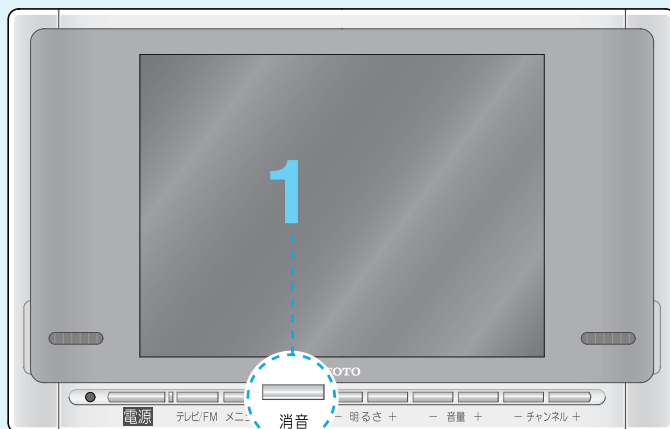


1

音量ボタンを押す

「+」を押すと大きく、「-」を押すと小さくなります。
(リモコンの場合「▲」を押すと大きく、「▼」を押すと小さくなります。)

画面に数字とバーで音量が表示されます。



約4秒間操作なしで
画面表示が消えます。

おしらせ

※外部入力とFM放送の音量、音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調節してください。
※外部入力の音量/音質とテレビの音量/音質は同じです。



注意

外部入力(テレビ)からFMに切替えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合があるので注意する

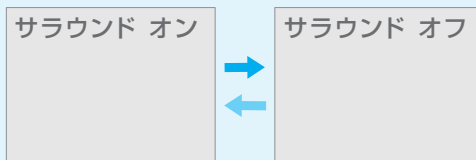
音に臨場感をもたせる (サラウンド)



1

サラウンドを押す(リモコンのみ)

押すたびに次のように切替わります。



※スペシャライザーはデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。Spatializer®及びシンボルマークはデスパー・プロダクツ社の登録商標です。

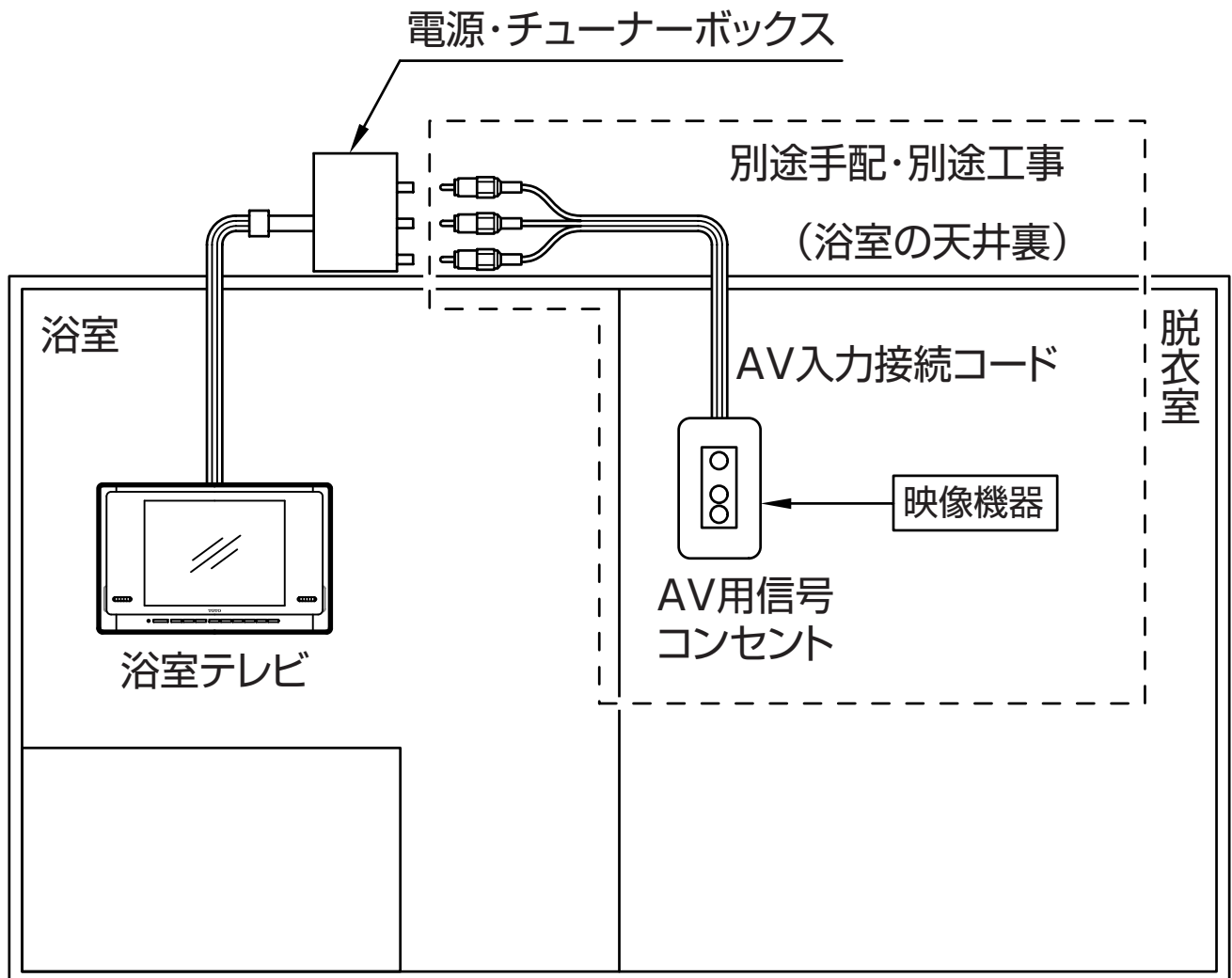
おしらせ

※外部スピーカーと接続した場合、外部スピーカーからのTV音声はサラウンドではありません。

外部入力の使用方

- 本製品は地上デジタルテレビ放送への完全移行(2011年7月予定)に伴う地上アナログテレビ放送の終了後は受信することができなくなります。
(CATVでは2011年7月以降も受信できる可能性があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。)
- 外部AV入力は、将来的に地上デジタルテレビ放送チューナーの入力用としてご使用いただけます。また、脱衣室等にAV用信号コンセントを設けることで、映像機器を入力して浴室内で映画等を楽しむこともできます。
- 浴室テレビの外部AV入力端子はシステムバスルームの場合、浴室の天井裏に設けられています。
(在来施工の場合、現場により異なりますのでご確認ください。)
- 外部入力端子以降の配線部材および接続工事は別途となります。お求めの販売店にご相談ください。

脱衣室にAV用信号コンセントを設けた例



テレビの受信チャンネルを設定する

受信設定をする前に……

VHF1～12は工場出荷時に設定済みです。以下の場合に調整してください。

- UHF/CATV放送が受信できる地域
- 転居などで一度設定したチャンネルが異なる場合
- 自分で好きなようにチャンネル設定したい場合

【方法1】オート設定

- 特にお好みがない場合、この「オート設定」が便利です。

お住まいの地域で受信できる放送チャンネルを探しながら、自動的に記憶します。

記憶可能な受信チャンネル数は最大29です。チャンネル番号13以降に記憶された受信チャンネルは順送りチャンネルボタン「+」「-」（リモコンの場合●/●）でご覧いただけます。

- VHF/UHF/CATV混在地区では「オート設定」をすると、チャンネル番号3以降でVHF放送の受信がない番号からUHFやCATVのチャンネルを設定していきます。

※電源ボタン・消音ボタンでオート設定が中断された場合、中断されるまでの設定内容を保存します。

〈例〉VHF1.4とUHF19とCATV20チャンネルが放送されている地域では次のように設定されます。

チャンネル番号	1	2	3	4	5	…
受信チャンネル	1	空	19	4	C20	

【方法2】マニュアル設定

オート設定後、次のような変更したい内容がある場合はこの「マニュアル設定」をご利用ください。

- ①「オート設定」で不要なチャンネル（映像）が記憶されたとき
- ②「オート設定」で記憶させたいチャンネルが記憶されなかったとき
- ③お好みで受信チャンネルやチャンネル番号、表示番号の組み合わせを変更したいとき

マニュアル設定可能な項目について

※詳細はP.23マニュアル設定をご覧ください。

マニュアル設定可能なチャンネル数は最大30で、設定可能な項目は右記の3つです。

- 受信CH:受信するチャンネル
- 画面表示:画面に表示させる番号
- 受信調整:受信状態の微調整

おしらせ

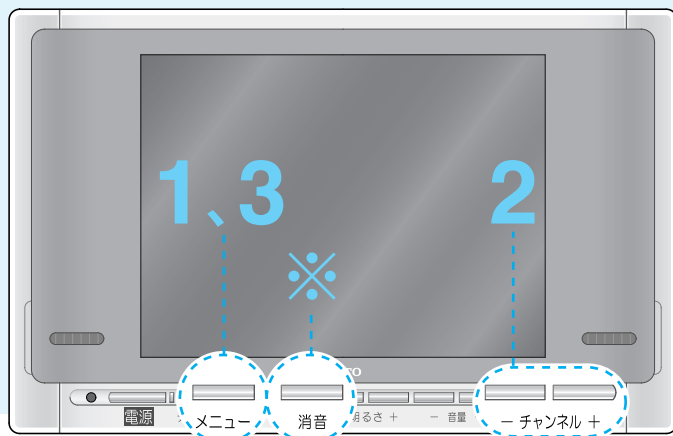
※「オート設定」では受信可能なチャンネルを前詰で記憶しますので、記憶可能チャンネル数(29)以上の受信可能チャンネルがある場合には最大29チャンネルまでしか記憶されません。記憶チャンネルを変更する場合はP.23マニュアル設定をご覧ください。

※「オート設定」ではテレビ電波やアンテナの状況によって、不要なチャンネル(映像)が記憶される場合があります。不要なチャンネルを削除する場合はP.23マニュアル設定をご覧ください。

※「オート設定」では電波やアンテナの状況によって、記憶させたいチャンネルが設定されない場合があります。

テレビの受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定画面を呼出す



1

メニューボタンを押す
メニュー画面に移ります。

▶ 画像設定
▶ 音声設定
▶ 機能設定
▶ チャンネル設定

決定 ▶ メニュー
戻る ▶ 消音
選択 ▶ チャンネル

2

チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選ぶ
ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。

▶ 画像設定
▶ 音声設定
▶ 機能設定
▶ チャンネル設定

決定 ▶ メニュー
戻る ▶ 消音
選択 ▶ チャンネル

「▶」マークを「チャンネル設定」の横に移動させます。

3

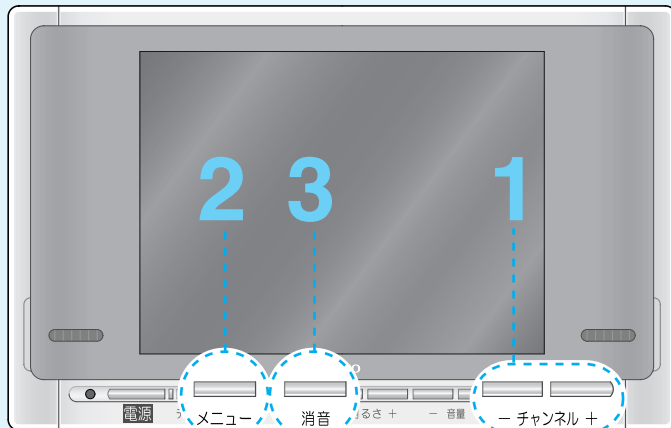
メニューボタンを押す
チャンネル設定画面に移ります。

▶ テレビオート設定
▶ テレビマニュアル設定
▶ FMチャンネル設定

決定 ▶ メニュー
戻る ▶ 消音
選択 ▶ チャンネル

※ 前の画面に戻るには消音ボタンを押す

オート設定する



1

チャンネルボタンで「テレビオート設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。

▶**テレビオート設定**
テレビマニュアル設定
FMチャンネル設定

「▶」マークを「テレビオート設定」の横に移動させます。

決定▶メニュー
戻る▶消音
選択▶チャンネル

2

メニューボタンを押す

オート設定を開始します。
設定終了後は自動でチャンネル設定画面に戻ります。
受信チャンネル設定完了です。

NO 受信CH 画面表示 受信調整
3 50 50 ± 0

自動で設定して
いきます。

戻る▶消音

◆続けてマニュアル設定しない場合は

3

消音ボタンを2回押す

押すたびに前の画面に戻ります。

▶**テレビオート設定**
テレビマニュアル設定
FM

▶**画像設定**
音声設定
機
子

通常画面

おしらせ

※オート設定中に消音ボタンを押すと、途中まで設定した状態で、チャンネル設定画面に戻ります。

安全上のご注意

ご使用前の
前に

使い方

お手入れ

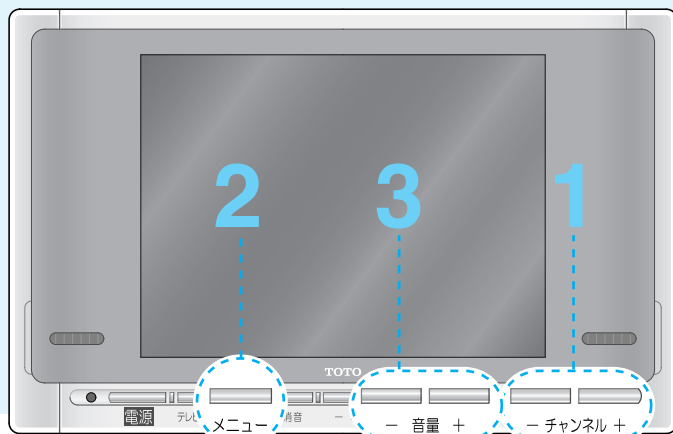
困った
ら

テレビの受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定画面を呼出す

●テレビの受信チャンネル設定 (P.21) を行ってください。

マニュアル設定する



1

チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。

テレビオート設定
▶**テレビマニュアル設定**
FMチャンネル設定

決定 ▶メニュー
戻る ▶消音
選択 ▶チャンネル

「▶」マークを「テレビマニュアル設定」の横に移動させます。



2

メニューボタンを押す

マニュアル設定画面に移ります。
設定可能な項目は以下の4つです。

チャンネル番号

テレビに記憶する番号

画面表示番号

画面に表示する番号

NO	受信CH	画面表示	受信調整	受信調整具合
1	1	1	±0	

受信チャンネル番号
受信するチャンネル

◆設定する項目を選ぶ場合は

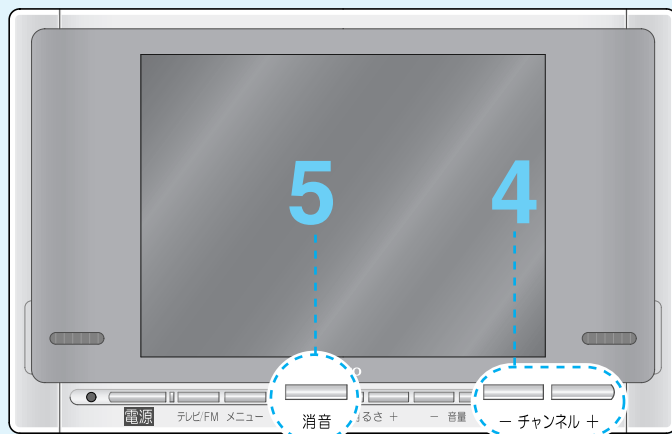
3

音量ボタンを押す

赤字がNO⇔受信CH⇔画面表示⇔受信調整と動きますので、設定する項目を選択します。

NO	受信CH	画面表示	受信調整
3	3	3	±0

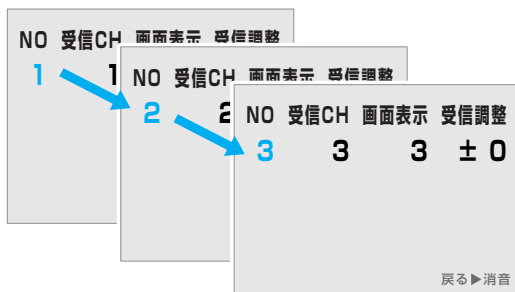
項目選択 ▶音量
選択 ▶チャンネル
戻る ▶消音



◆選択した項目を変更する場合は

4 チャンネルボタンを押す

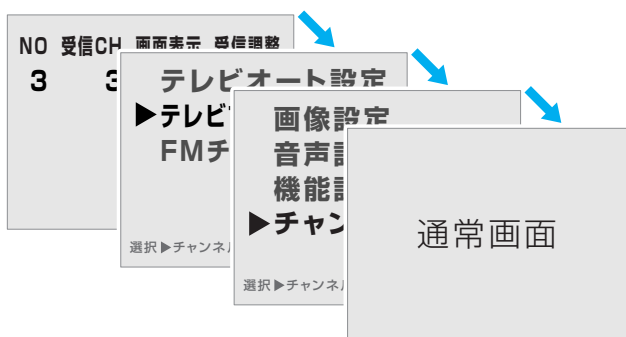
赤字の番号が順送りに変化しますので、設定したい番号を選択してください。



◆マニュアル設定を終了する場合は

5 消音ボタンを3回押す

押すたびに前の画面に戻ります。



おしらせ

- ※音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
- ※チャンネル番号は1～30まで設定できます。画面には現在設定中の映像が映ります。
- ※受信チャンネル番号は1～6 2⇔C 1 3～C 6 3⇔—(スキップ)⇔1～と変わります。画面には受信チャンネル映像が映ります。
- ※画面表示番号は1～6 2⇔C 1 3～C 6 3⇔1～と変わります。
- ※オート設定で記憶された不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルを—(スキップ)に設定してください。
- ※受信チャンネル番号でスキップを選択した場合、画面表示番号および受信調整は設定できません。
- ※設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度変更してください。
- ※受信調整は増減させることで受信状態を調整することができるものです。電波状態などで微調整が必要な場合にご使用ください。

FM放送の受信チャンネルを設定する

受信設定をする前に……

FM放送の受信チャンネル(最大12チャンネル)を設定します。
工場出荷時にはF1~12に76.0MHz~87.0MHzが仮設定されています。
地域の放送局にあわせ、以下の方法で変更してください。

※各放送局の周波数は新聞のラジオ欄に記載されていますので、ご覧になると便利です。

(アンテナの設置条件によって周波数がズレて受信する場合があります。)

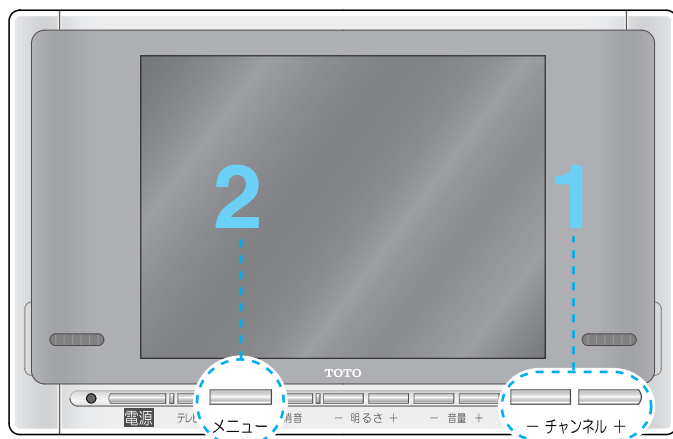
※アンテナの設置条件によっては、周波数をずらす等の微調整を行った方が良好に受信できる場合があります。

※CATVで受信される場合、周波数が変更されている場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。

受信チャンネル設定画面を呼出す

●テレビの受信チャンネル設定(P.21)を行ってください。

FM放送受信チャンネルを設定する



1

チャンネルボタンで「FMチャンネル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。

テレビオート設定
テレビマニュアル設定
▶FMチャンネル設定

選択▶チャンネル
決定▶メニュー
戻る▶消音

「▶」マークを「FMチャンネル設定」の横に移動させます。

2

メニューボタンを押す

FMチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル番号

テレビに記憶する番号

受信周波数

NO	受信CH	受信調整	受信調整具合
F 1	76.0	0	
F 2	77.0	0	
F 3	78.0	0	
F 4	79.0	0	

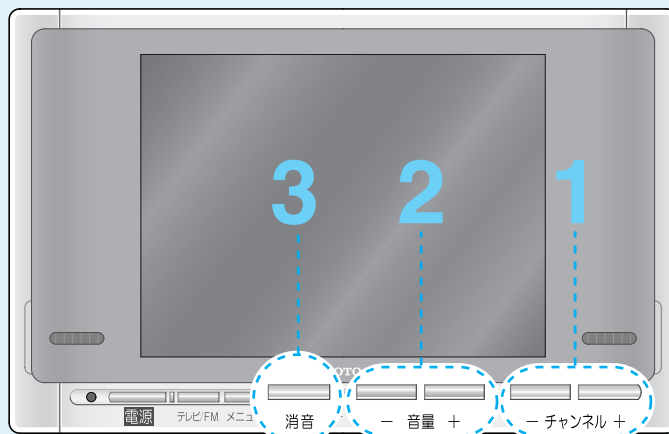


◆設定するチャンネルを選ぶ場合は

3 音量ボタンを押す

押すたびに赤字受信CH⇔受信調整しますので設定するチャンネル番号を選択してください。

NO	受信CH	受信調整
F 1	76.0	0
F 2	77.0	0
F 3	78.0	0
F 4	79.0	0



◆選択したチャンネルの周波数を変更する場合は

4 チャンネルボタンを押す

「+」「-」(リモコンの場合▲/▼)を一回押すたびに0.1単位で周波数が増減します。押しつづけると早送りします。新聞のラジオ欄などを参考に放送局の周波数にあわせてください。

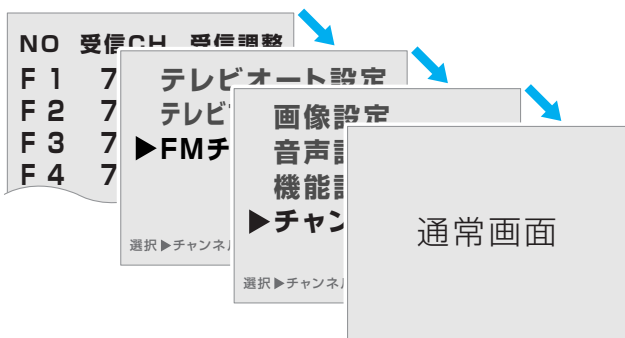


NO	受信CH	受信調整
F 1	76.0	0
F 2	76.1	0
F 3	76.2	0
F 4	77.0	0
F 1	78.0	0
F 2	79.0	0

◆FM放送受信チャンネルの設定を終了する場合は

5 消音ボタンを3回押す

押すたびに前の画面に戻ります。



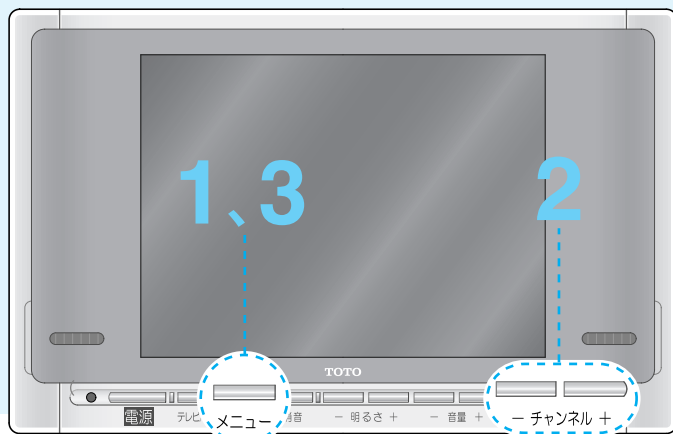
おしらせ

- ※音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
- ※周波数は76.0～90.0⇔—(スキップ)⇔76.0～と変わります。
- ※不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルを—(スキップ)に設定してください。
- ※設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度変更してください。
- ※受信調整は増加させることで受信状態を調整することができるものです。電波状態などで微調整が必要な場合にご使用ください。

その他の調整をする

●メニュー画面よりお好みに合わせてテレビの画質や音声、チャンネル表示切換え、オフタイマー時間、バックライト明るさの設定を調整できます。調整できる項目の詳細は一覧表 (P.29)をご覧ください。

共通しておこなう作業



1

メニューボタンを押す

メニュー画面に移ります。

▶ **画像設定**
▶ **音声設定**
▶ **機能設定**
▶ **チャンネル設定**

決定 ▶メニュー
戻る ▶消音
選択 ▶チャンネル

2

チャンネルボタンで設定項目を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。

▶ **画像設定**
▶ **音声設定**
▶ **機能設定**
▶ **チャンネル設定**

決定 ▶メニュー
戻る ▶消音
選択 ▶チャンネル

「▶」マークを設定項目の横に移動させます。

3

メニューボタンを押す

各設定の調整項目画面に移ります。

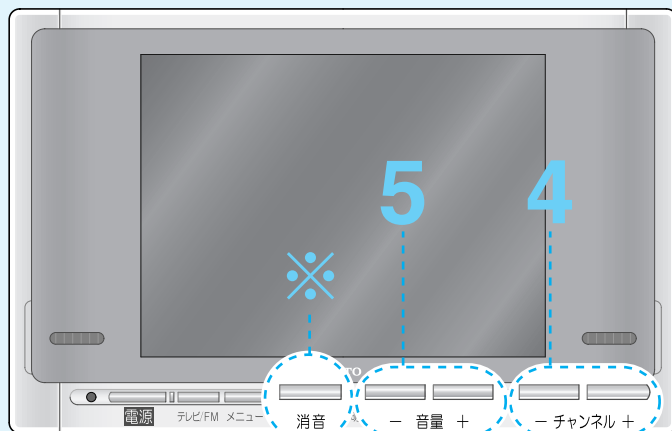
▶ **チャンネル表示** オン/●オフ
▶ **オフタイマー設定** 120分
▶ **バックライト** ●明/●暗

▶ **高音**
▶ **低音**
▶ **バース**
▶ **スリ**
▶ **音質**

▶ **明るさ**
▶ **コントラスト**
▶ **色あい**
▶ **色の濃さ**

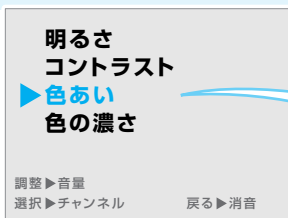
調整 ▶音量
選択 ▶チャンネル
戻る ▶消音





4 チャンネルボタンで調整する項目を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。



「▶」マークを調整する項目の横に移動させます。

5 音量ボタンを押す

「+」「-」(リモコンの場合▲/▼)を押すと、選択した項目の調整画面が出て、調整ができます。
 ※□と数字が現在値をあらわします。
 ※機能設定では画面は切換わりません。



※前の画面に戻るには消音ボタンを押す

おしらせ

- ※約60秒間操作なしで通常の画面に戻ります。
- ※調整画面では約4秒間操作なしで調整項目画面に戻ります。
- ※調整画面ではチャンネルボタンを押すと調整項目画面に戻ります。
- ※機能設定では調整項目画面での切換えになります。

その他の調整をする

調整できる項目一覧

設定項目 共通して行う作業 2 で選ぶ	調整項目 共通して行う作業 4 で選ぶ	調整内容 共通して行う作業 5 で選ぶ	工場出荷時の設定
▶画像設定	明るさ	暗く⇔明るく	中間
	コントラスト	弱く⇔強く	中間
	色あい	赤く⇔緑	中間
	色の濃さ	薄く⇔濃く	中間
▶音声設定	高音	弱く⇔強く	中間
	低音	弱く⇔強く	中間
	バランス	左寄り⇔右寄り	中間
	ステレオ	モノラル/ステレオ切換え	ステレオ
	音声多重	主音声/副音声/ 主+副音声切換え	主音声
▶機能設定	チャンネル表示	オン/オフ切換え	オフ
	オフタイマー設定	オフ~120分、 10分単位切換え	120分
	バックライト	明/暗切換え	明
	キー入力音	オン/オフ切換え	オン
	サラウンド	オン/オフ切換え	オン
	外部入力	オン/オフ切換え	オフ

お知らせ

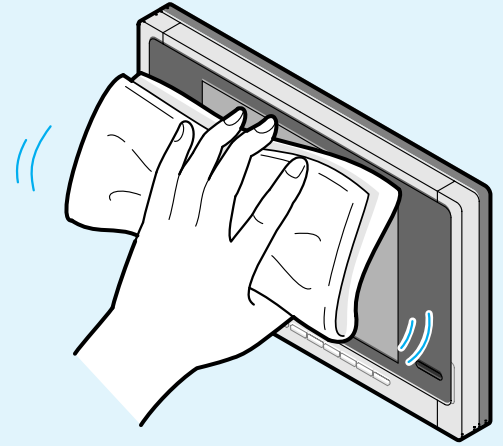
- ※音声設定のステレオはステレオ放送受信時のみ有効です。
- ※音声設定の音声多重は音声多重放送受信時のみ有効です。
- ※ステレオ放送の雑音やステレオとモノラルの切換えが気になるときは、音声をモノラルにすると軽減される場合があります。
- ※チャンネル表示をオンにするとテレビ画面右上に常時小さくチャンネルが表示されます。
- ※オフタイマー設定は電源オンしてから自動的に電源オフするまでの時間の設定です。設定でオフを選択すると自動では電源オフしません。
- ※バックライトは液晶画面全体の明るさを切換えます。全体的に画面が明るすぎる場合などにご利用ください。
- ※音声設定のステレオ、音声多重はリモコンからも調整できます。詳しくはP. 12をご覧ください。
- ※機能設定のチャンネル表示はリモコンからも調整できます。詳しくはP. 12をご覧ください。



お手入れ

きれいな画面を保つには

画面を指で触らないのはもちろん、入浴後、毎日やわらかい布で水滴を拭き取り、水あかがつかないようにしておくのが理想的です。



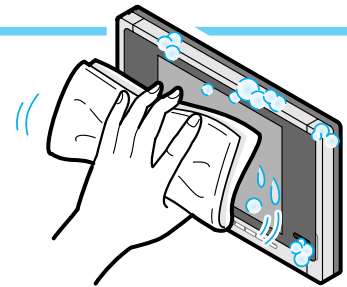
指紋や水あかがついてしまったら

水でうすめた浴室用中性洗剤に布をひたし、固く絞って拭き取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。



石鹸、シャンプーや洗剤などがかかってしまったら

軽く絞った布でよく拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどがつき、画面が見にくくなったり故障の原因となります。



⚠ 注意

- ⊘ ※お手入れの際、画面を強く押したり、強くこすったりしない
画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。
- ⊘ ※お手入れの際、スピーカー部を先のとがったもので掃除しない
スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。
- ⊘ ※以下の洗剤、用品などは使用しない
製品に不具合が生じたり、使用方法によっては人体に影響を及ぼすおそれもあります。

- 「酸性」の表示のある洗剤、洗剤、漂白剤
- 「アルカリ性」の表示のある洗剤、洗剤、漂白剤
- クレンザー（粉末や研磨力のあるもの）
- 薬品（塩酸など）
- 溶剤（シンナー、アセトンなど）
- みがき粉
- ナイロンたわし/金属たわし
- ナイロン不織布/ナイロンネット付スポンジ
- サンドペーパー
- その他先のとがったもの





故障かな?!と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

電源が勝手にオフになる

原因 処置 オフタイマーが設定されていませんか? お好みの時間に調整してください。(P.27参照)

画像が不鮮明、音声に雑音が入るとき

原因 処置 アンテナの向きがずれていませんか? アンテナの向き、角度、位置、方向などを調整すると改善される場合があります。お近くの電気店にご相談ください。
山や大きな建物からの反射電波を受けていませんか?
高圧線、ネオン、自動車、電車などからの影響を受けていませんか?

画像が尾を引くとき

原因 処置 本体温度が低いからです。 本体温度が上がるとともに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。

画面に斑点や縞模様がでるとき

原因 処置 他の電気製品から雑音電波が出ていませんか? 雑音電波の原因である電気製品等を離してください。

画面が明るい

原因 処置 明るさの調整は適切ですか? お好みの明るさに調整してください。(P.11参照)

画面が暗い

原因 処置 明るさの調整は適切ですか? お好みの明るさに調整してください。(P.11参照)
浴室内の気温が低くないですか? 本体温度が上がるとともに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。

音が急に小さくなる

原因 処置 スピーカー一部の穴に水滴が溜まっていませんか? ※スピーカー部にシャワーなどをかけると発生します。 布で水滴を拭き取るか、強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。故障ではありません。 ※穴に先のとがったものは差し込まないでください。

電源が入らない

原因 処置 停電ではないですか? 停電復帰を待ってください。
ブレーカーは入っていますか? ブレーカーを入れてください。

リモコンが操作できない

原因 処置 電池は入っていますか? 電池を入れてください。(P.4参照)
電池が古くないですか? 電池を交換してください。(P.4参照)
電池の向きが間違っていないですか? 電池を正しい向きに入れてください。(P.4参照)
リモコンをテレビ本体に向けて操作していますか? テレビ本体に向けて操作してください。
リモコン発信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れていませんか? きれいにしてください。

FMを受信できない、雑音が入る

原因 処置 VHF/FMアンテナが設置されていますか? FM放送はVHF/FMアンテナを利用して受信する構造です。VHF/FMアンテナが無い場合は、別途VHF/FMアンテナを設置する必要があります。(VHFアンテナで受信する場合は、FMアンテナと比較すると感度が悪くなる場合があります。)
アンテナ線にFM帯域のフィルタは入っていませんか?



アフターサービスについて

修理を依頼する前に「故障かな?!と思ったら」(P.31)をご確認ください。

保証について

- 本製品は、設置日から1ヵ年保証です。
- この取扱説明書のP.34が保証書になっています。必ずお引渡年月日、お取付店名、扱者印などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認ください。なお、異常のあるときには、お求めの販売店・お取付工事店または、東陶メンテナンス(株) TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02(フリーダイヤル)に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。

連絡していただきたい内容

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ご住所・お名前・電話番号 | <input type="checkbox"/> お引渡日(保証書をご覧ください) |
| <input type="checkbox"/> 製品名:浴室テレビ(10.4型) | <input type="checkbox"/> 故障内容・異常状況(P.31でご確認ください) |
| <input type="checkbox"/> 品番:EKK30032/PTZ0020 | <input type="checkbox"/> 訪問ご希望日 |

保証期間経過後、修理を依頼されるとき

TOTOお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

本製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

なお、補修用部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品は東陶機器(株)の所有となります。

修理料金のしくみ〈東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合〉

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

- 製品の場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- 修理に使用した部品代です。
- 診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

安全上のご注意

ご使用前に

使い方

お手入れ

困ったら



仕様

外形寸法	本体:H228×W355×D32mm、電源・チューナーボックス:H162×W240×D60
定格電圧・周波数	AC100V 50/60Hz共用 (本体DC12V)
定格消費電力	約16W(待機時約0.8W)
使用温度	0℃～50℃
受信チャンネル	VHF : 1～12、UHF : 13～62、CATV : C13～C63、FM : 76.0～90.0MHz
画面サイズ	10.4型 (H211× W158)
表示方式	透過型 TN液晶パネル
駆動方式	TFT アクティブマトリクス方式
画素数	307,200画素(縦640×横480)
音声出力	ステレオ、モノラル、音声多重(サラウンド機能あり)
スピーカー	φ40×2 防水フルレンジスピーカー
受信方式	NTSC方式(国内専用)
アンテナ入力	F型接栓
外部AV入力	RCAピンジャック(2系統)
外部音声出力	RCAピンジャック
その他機能	切り忘れ防止タイマー
付属品(同梱品)	リモコン(1個)、リモコンホルダー(1個)、電池(1個)、取扱説明書

お知らせ

※浴室テレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

※BS、CS、地上デジタル放送等のチューナーは内蔵していません。

※CATVは配信会社によっては受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。

※FM放送はテレビのVHFアンテナを利用して受信する構造です。VHFアンテナがない場合は、別途VHFアンテナを設置する必要があります。

※CATVではFMラジオを受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。

※浴室テレビは地上デジタル放送への完全移行(2011年7月予定)に伴う地上アナログテレビ放送の終了後は受信することができなくなります。(CATVでは2011年7月以降も受信できる可能性があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。)

※FM放送は、本製品内のテレビチューナーに付属している機能を利用して受信しており、他のラジオ製品と比較して受信状態に差が生じる場合があります。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お引渡日から表記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、お求めの取付店・販売店又は東陶メンテナンス(株) (TEL:0120-1010-05 FAX0120-1010-02)に修理をご依頼ください(ご不明な点は、当社お客様相談室にお問い合わせください)。

お客様	おなまえ	様	品番	浴室テレビ(10.4型) EKK30032 / PTZ0020
	おところ ㊦		お引渡日	年 月 日
お取付店名	㊦	Tel	保証期間	お引渡日から1ヶ年

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、お引渡年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス(株)にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買求めの販売店・取付工事店にご相談ください。
- 保証期間内でもつぎの場合には有料修理になります。
 - イ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ 取付後の移設等に起因する故障及び損傷
 - ハ 火災・地震・水害・落雷・凍害・その他の天災地変、公害、ガス害(硫化水素ガスなど)、塩害や異常電圧による故障及び損傷
 - ニ 一般家庭用以外(例えば業務用での使用または車輛・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ホ 指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用及び異常水質による故障及び損傷
 - ヘ 砂やごみかみによる不具合及び消耗部品(電球・ヒューズ・乾電池・水栓金具のパッキン及び浴槽排水栓など)の損耗
 - ト 取付上の不注意・過失による故障及び損傷
 - チ 維持管理の不備による汚れなどの不具合
 - リ 本書の提示がない場合
 - ヌ 本書にお客様名、お取付店名、お引渡日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
- 無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器(株)の所有となります。

〈サービス記録〉

年月日
サービス内容
担当者

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社お客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

TOTO

東陶機器株式会社

- 修理をご依頼される前に「故障かな?!と思ったら」(P.31)をご確認ください。

修理・取扱いのご相談は

まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒	印
販売店		電話

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品の
お問い合わせは



TOTOお客様相談室へ

TEL ☎0120-03-1010

FAX ☎0120-09-1010

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

補修用部品
ご購入は



TOTOパーツセンターへ

TEL ☎0120-8282-55

FAX ☎0120-8272-99

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご依頼は



東陶メンテナンス(株)へ

TEL ☎0120-1010-05

FAX ☎0120-1010-02

受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00
上記以外の地区 9:00-20:00
訪問修理(年中無休)
営業時間： 9:00-18:00